

関門航路[南東水道地区]潜水探査及び浚渫工事のお知らせ

今般、下記により関門航路[南東水道地区]の潜水探査及び浚渫工事を実施しますので、付近海域の航行船舶は、十分な注意と作業へのご協力をお願い致します。

1. 工事作業期間について(気象等の影響により幾弱変わる事があります。)

地区名	種別	作業船種	隻数	区分	予定期間	作業時間	警戒船
南東水道地区	潜水探査	潜水土船	16隻(最大)	17工区・18工区	H26. 3. 3~H26. 3.28	日の出 ~ 日没	4隻
				15工区	H26. 5. 1~H26. 5.25		
				16工区	H26. 6. 7~H26. 6.22		
				17工区	H26. 4. 2~H26. 5.23		
	浚渫	ドラグサクシオン式浚渫船	1隻	15工区	H26. 5.26~H26. 6. 6	昼・夜	-
				18工区	H26. 6. 9~H26. 6.20		
				16工区	H26. 6.23~H26. 7.11		

2. 工事作業の場所.....南東水道地区(図-1参照)

3. 工事作業の概要及び安全対策

3-1 潜水探査

- 1) 潜水土船は最大16隻を航路に平行になるように配置します。(図-2参照)
- 2) 潜水土船1隻に1名の潜水士を投入します。
- 3) 潜水土船には、国際信号旗「A旗」を示す信号板を揚げ、潜水探査中であることを明示します。(図-3参照)
- 4) 潜水探査作業中は、警戒の標識(緑、黄、緑の吹き流し)を揚げた警戒船4隻(内1隻は国際VHF無線を装備したもの)を配置します。(図-2、4参照)
- 5) 潜水作業中は、作業区域の四隅及び長さ方向が300mを超える場合は中間に俵ブイを配置します。(図-2、5参照)
- 6) 航路中心線から北側で潜水探査を行っているとき、1万GT以上の西航船がある場合は、航路外に退避します。また、航路中心部から南側で潜水探査を行う場合、1万GT以上の東航船がある場合は航路外に退避します。なお、退避の際は俵ブイも撤去します。
- 7) 現地の天候により危険と判断した場合は作業を中止します。
(視界2,000m未満、波高0.7m以上、風速10.0m/sec以上)

3-2 浚渫工事

- 1) 国有ドラグサクシオン式浚渫船「海翔丸」にて、航路に平行に浚渫工事を実施します。
(図-6、7参照)

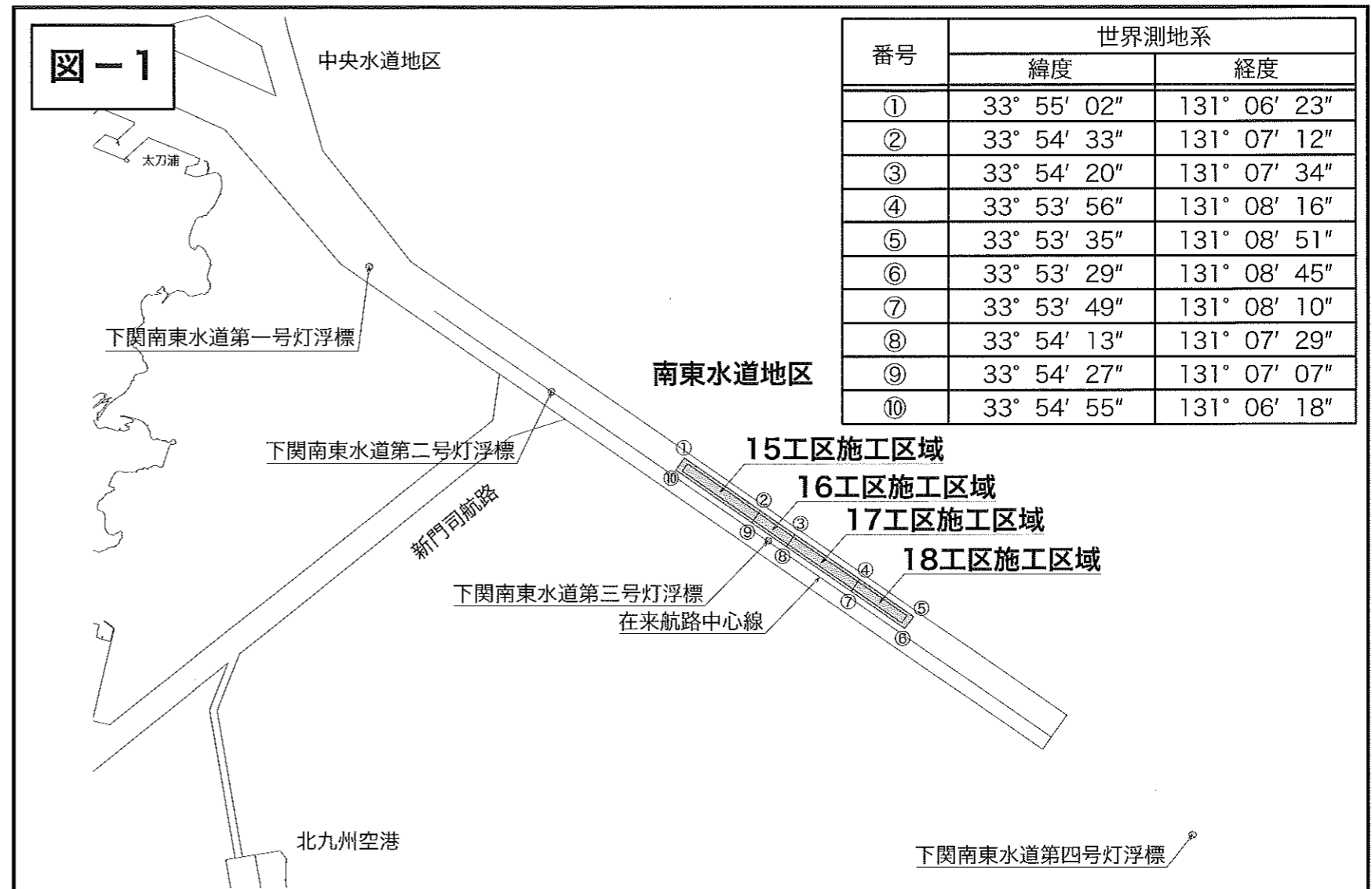
4. 情報の提供

作業情報は、下記で取り扱っています。

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3丁目7-38

関門航路事務所 建設管理官室

TEL 093-512-8099 FAX 093-512-8106



番号	世界測地系	
	緯度	経度
①	33° 55' 02"	131° 06' 23"
②	33° 54' 33"	131° 07' 12"
③	33° 54' 20"	131° 07' 34"
④	33° 53' 56"	131° 08' 16"
⑤	33° 53' 35"	131° 08' 51"
⑥	33° 53' 29"	131° 08' 45"
⑦	33° 53' 49"	131° 08' 10"
⑧	33° 54' 13"	131° 07' 29"
⑨	33° 54' 27"	131° 07' 07"
⑩	33° 54' 55"	131° 06' 18"

図-2 潜水探査作業船配置図

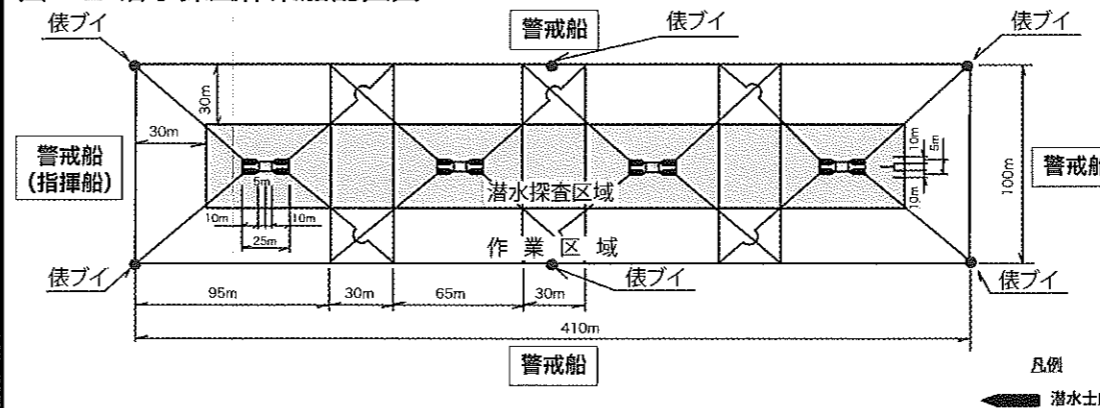


図-3 潜水土船の標識

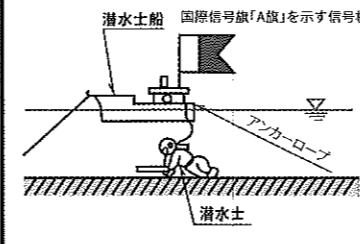


図-4 警戒船の標識

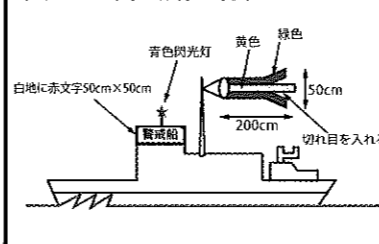


図-5 俵ブイ詳細図

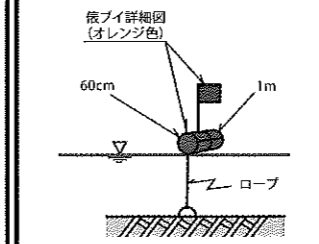


図-6 浚渫船「海翔丸」の作業状況平面図

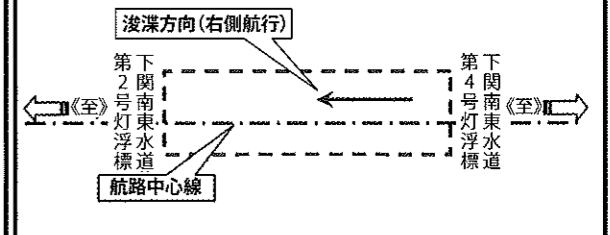


図-7 浚渫船「海翔丸」の作業状況側面図

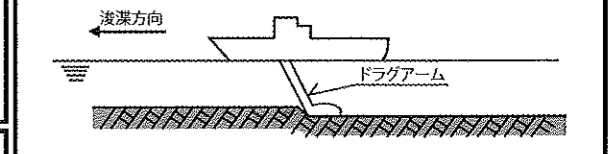


図-8 浚渫船「海翔丸」の灯火及び形象物

